

朝食を毎日必ず食べよう ～食育アンケートを実施～

今年度、市教育委員会では学校における食に関する指導の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となった食育を推進するため「栄養教諭を中核とした食育推進事業」検討委員会を設置し、食育に取り組んでいます。この調査は、市内小中学生およびその保護者の食生活の実態を把握し、今後の食育と食生活の改善を考える資料とするために実施しました。

◆調査期間

平成 21 年 4 月 30 日～5 月 8 日

◆対象

市内小学校 2 年生 (321 人) と 5 年生 (323 人)
市内中学校 2 年生 (320 人)
その保護者 (765 人)

「食育」とは、心と身体の健康を保つため、毎日欠かすことのできない食べ物や食事の仕方などについて、正しい知識と自分で選択できる力を身につけることです。

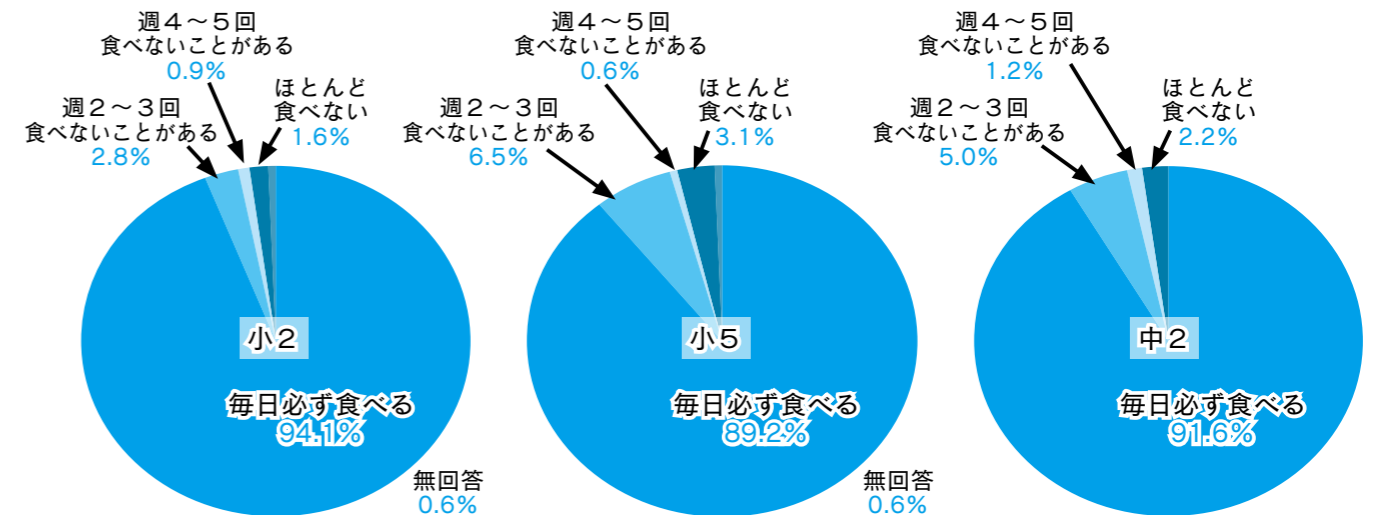
「食育に関する活動や行動」には、次のようなものが含まれます。

- ・料理教室への参加などによる知識の習得
- ・無農薬野菜などの安全な食品の購入
- ・体験農園への参加や生産者との交流など農業生産・加工活動への参加・体験
- ・伝統的な食に関する行事への参加
- ・食生活の改善に関する勉強会や食に関わるボランティア活動への参加
- ・県内産食材の優先購入やスローフードの実践
- ・食の安全性に関する知識の習得

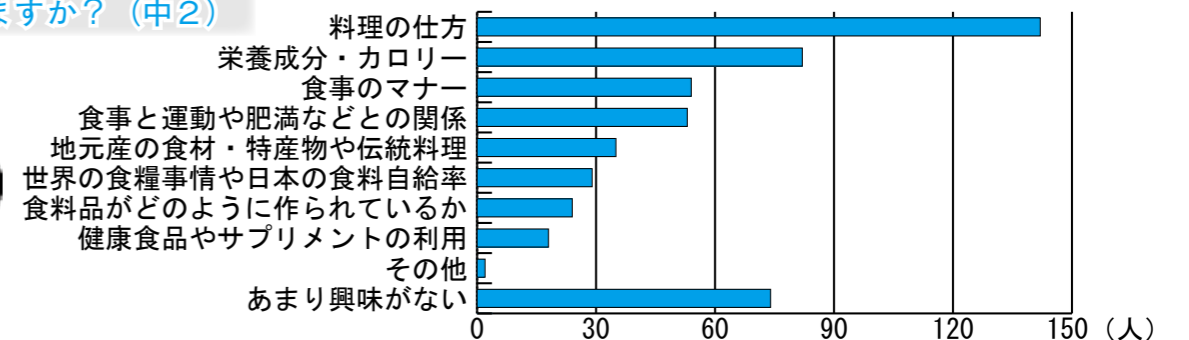


～児童・生徒アンケート～

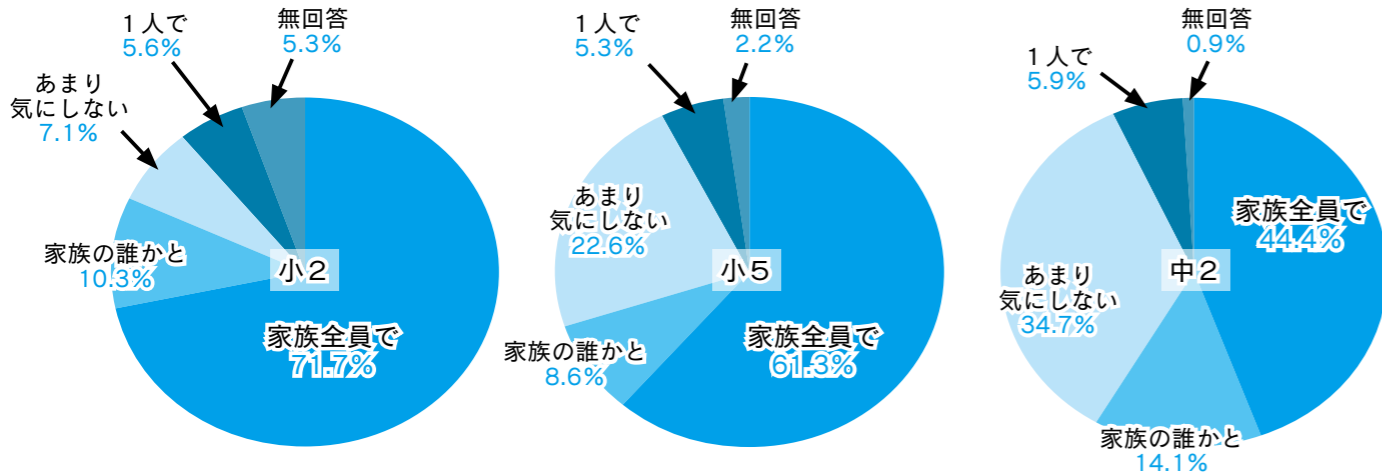
朝ごはんを食べていますか？



食に関してどのようなことに興味がありますか？ (中2)

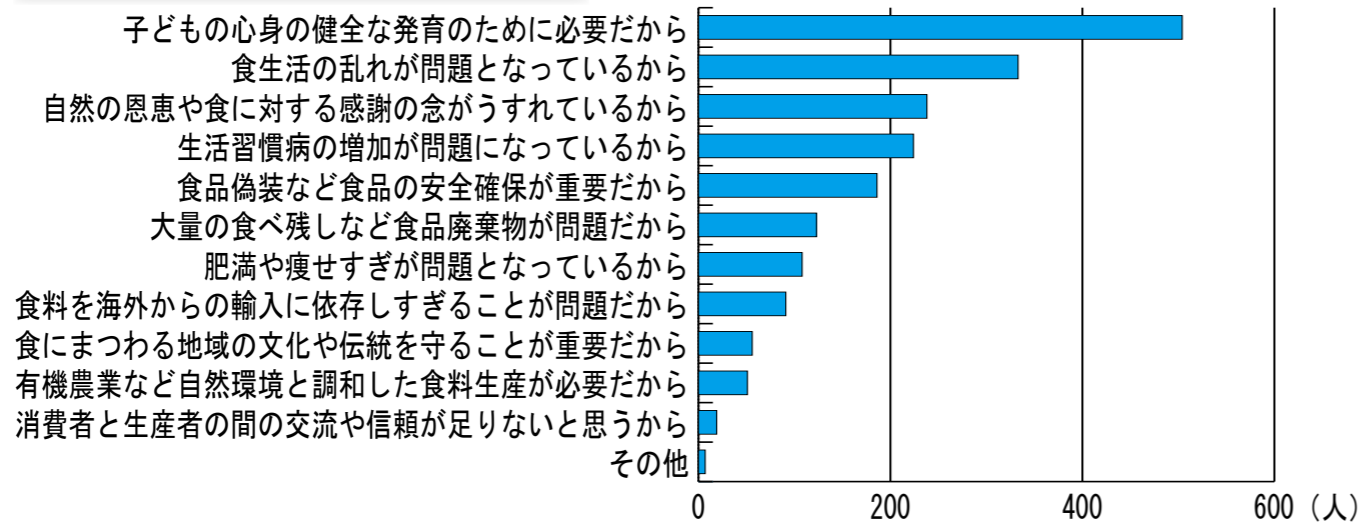


食事は誰と食べたいですか？

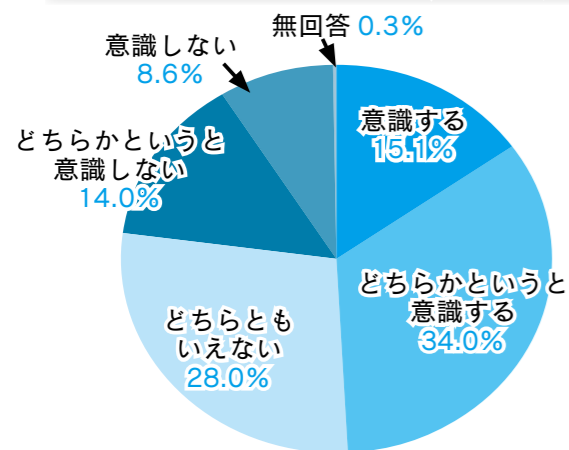


～保護者アンケート～

「食育」に関心がある理由は何ですか？



買い物をするとき、富山県産を意識しますか？



保護者の意見

- ・あまり難しく考えないで、楽しく会話しながらいろいろ伝えたいと思います。子どもも高学年になってくるといろいろ教わってくるので、それを子どもが親に教えてくれ、会話のきっかけが増えました。
- ・子どもの成長には食育というものはとても大切だと思います。子どもと一緒に学んでいきたいです。
- ・食育に関心はあるが、活動や行動を全くしていないということに気づきました。今後考えていかなければと思いました。

～まとめ～

食を取り巻く環境の変化により、子どもたちの欠食や孤食などが増えていることから、生活習慣の改善とともに、家族や友人などと楽しく食事をする機会を増やしていくことが大切です。今年度も「毎日しっかり朝ごはん」を実施し、学校で食に関する指導を行います。この機会になるべく家族そろって食事できるようにしましょう。また、郷土料理や伝統的な食文化に対する意識が薄れてきています。料理教室や食に関するイベントに参加することで、地場産の豊かな食材を活用した伝統的な食文化を学ぶことができます。料理教室を企画して子どもたちにも伝えていきたいと思っています。

問合せ先 学務課 (内線 2 5 3)・学校給食共同調理場 (☎ 4 7 5 - 3 7 0 7)